

男女共学

SHOWA

WOMEN'S UNIVERSITY ELEMENTARY SCHOOL

昭和女子大学附属 昭和小学校 2027

*Lead Yourself to
Be a Light to the World*



主体性を培い、自分リーダーシップを発揮できる子に。



Be a Light to

昭和小学校は、改革を加速します

昭和小学校は2024年4月から「探究コース」と「国際コース」を設置しました。どちらのコースも自立・自律しグローバルに活躍する人材を育てる様々な体験、学習の機会を充実させ、教員も子どもたちも新しい目標に目を輝かせています。

同じキャンパスにこども園・中高・大学・大学院が立地し、州立テンプル大学ジャパンキャンパス、ブリティッシュ・スクール・イン・トウキョウ昭和とも、日常的に様々な交流があります。また海外キャンパス「昭和ボストン」を拠点に現地で学ぶプログラムでも、現地の小学生と交流しています。

こうしたグローバル環境だけではなく、昭和小学校には多くの無形資産があります。

AI時代には人間としての力が求められますが、現実の体験、人との触れ合いが大切です。

知識、スキルはオンラインにより効率的に学ぶことができますが、それをどう周囲の人と共有するか、どう協力して課題を解決するか、どう社会で生かすかが人間に求められます。

21世紀を担う「人」は仕事も私生活も充実させ、社会に関わり、他者と助け合い、幸福な人生を創る力を身につけることが必要です。そして知力、気力の基礎となる体力が不可欠です。

昭和小学校はそうした「人」を育てるという目標に向け、毎日の生活を充実させています。



昭和女子大学 総長

坂東 真理子



その好奇心、思考力、
「もっと」の気持ちを大切に

the World

世の光となろう

グローバルな視点をもって、自ら課題を解決しよう

内外の環境が大きく変化する時代には、グローバルな視点をもって自ら考え、課題を解決していく人材が求められます。また、AIの時代にこそ、異年齢を含めた様々な人と触れ合う中で、コミュニケーション力を高め、個性を発揮していくことが重要です。

昭和小学校では、2024年4月から、「探究コース」と「国際コース」を開設し、国際性や探究力をもつ人材を育成するため、さらなる高みを目指しています。

また、昭和女子大学のキャンパス内には、ブリティッシュ・スクール・イン・トウキョウ昭和やテンプル大学ジャパンキャンパスが設置されており、国際色豊かな環境にあります。

さらに、こども園から大学院まで幅広い年齢の人たちが学習していますので、様々な年代の人から学ぶことができます。

みなさん、このような理想的な環境の下で一緒に高みを目指しましょう。



昭和女子大学 理事長

椿 広計



“Lead Yourself”

昭和小学校は、探究×国際で、未来を切り拓きます。

昭和小学校は創立以来、建学の精神「世の光となろう」のもと、

初等部の目標である「目あてをさして進む人」「まごころを尽くす人」「からだを丈夫にする人」を大切にしながら、未来社会に貢献できる志の高い人材を育ててきました。

近年は「Lead Yourself～自分リーダーシップの発揮～」*1を柱に、

5つの資質・能力「自分づくり・コミュニケーション・思考力・表現力・持続チャレンジ」の育成に取り組んでいます。

子どもたちは未来の宝であり、教育は希望です。

70余年の伝統を基盤に、2024年度からは文部科学省の教育課程特例校の指定*2、

一条校の小学校として初のCambridge International 認定*3のもと、

「探究コース」「国際コース」の2つの学びで、さらなる高みを目指して実践を積み重ねています。

両コースとも、本校ならではのワンキャンパスの環境を生かし、英語に触れる機会や探究的な学びの推進、

附属校としての学びの連続性、アフタースクールの充実など、時代に合った教育支援システムの構築も進めています。

子どもたちが未来社会で生き生きと活躍する姿を思い描きながら、

一人ひとりの確かで豊かな学びと成長を、これからも丁寧に支えてまいります。

*1：何があっても、どんな場面でも、自分の良さや可能性を信じ、自他の向上のために影響を与え、ともに高まり合って自らの生き方をつくっていく力。

*2：学校または地域の実態に照らし、より効果的な教育を実施するための特別な教育課程を編成することを認められた学校。

*3：英国の「ケンブリッジ大学国際教育機構」が「ケンブリッジ国際認定校」として承認したものです。

国際教育カリキュラムが導入でき、専門的能力開発の機会や教材の提供が受けられます。



昭和女子大学附属 昭和小学校 校長

前田 崇司



Lead Yourself to

Be a Light to the World

5 Key Competencies Fundamental Education

5つの資質・能力



5つの資質・能力

6年間、5つの角度から多彩な学びを積み重ねます。



1

自分づくり【主体的に知る・見つめる】

/5 Key Competencies

何事にも主体的に関わり、自ら課題を発見して考え、豊かな自己実現を図ることで、「自分づくり」につなげます。また、客観的に振り返る力も養って、目標達成や自己実現のために努力できる児童を育てます。

- 体験を重視し探究と考察を深める
- 充実の総合学習「昭和っ子の研究」

全学年テーマ 「みんなで生きる」▶

(2025年度実施)

1年生：いきもの探究（どうぶつ）
2年生：いきもの探究（しょくぶつ）
3年生：わたしたちのまち
4年生：わたしたちと自然
5年生：日本
6年生：みんなで生きる

- 附属ならではの STEAMS* 教育

*STEAMS： Science=科学、Technology=技術、Engineering=工学・ものづくり、Art=芸術・リベラルアーツ、Mathematics=数学、Sports=スポーツ



「おもちゃ×テクノロジー」を通じて子どもの学びを研究している昭和女子大学人間社会学部の森 秀樹先生が1年生に、おもちゃをモーターで動かす体験授業を行いました。自分でおもちゃを動かす楽しさに子どもたちは大興奮。総合学習の「虫ロボットづくり」に繋がりました。



2

コミュニケーション 【主体的に関わる】

/5 Key Competencies

近年重視される非認知能力は、昭和小学校が長年「豊かな人間力」として育成してきた能力そのものです。多彩な他者と関わる活動、周りのために考える教育を通じて、さまざまな価値観を認めて協働できる児童を育てます。

- 学寮体験で「人との関わり方」を学ぶ
- ワンキャンパスならではの広い交流
- まごころの尊さを知る「努力証」




3

思考力 【主体的に考える】

/5 Key Competencies

「学ぶ喜び」を大切にしている昭和小学校だから、学習への意欲・探究心を高め、主体的に学ぶ姿勢を確立。自ら課題を見つけて論理的かつ柔軟に考え、進んで解決策を見出すことができる児童を育てます。

- 知識を活用し「挑戦と克服」の力を育成
- 「試し、考察する」日々が新たな価値創造へ
- 1年生からプログラミングとAIスキルを





4

表現力 【主体的に使う・表す】

/5 Key Competencies

価値観が多様化する時代に大切なのは、
自分が伝えたいことを魅力的に表現し、共感を得る力です。
昭和小学校は語彙を増やし、何事も言葉で表すことを重視。
気持ちや考えをきちんと伝え合える児童を育てます。

- 友達と伝え合うことで表現力が向上
- 読書の感動から表現力・創造力に昇華
- 芸術表現・身体表現も学んで訴求力アップ
- 探究・国際コース共「英語で表現」を重視



5

持続チャレンジ 【主体的に動く・続ける】

/5 Key Competencies

昭和小学校は6年間、発達段階に応じて多彩な
学びを展開することで、チャレンジを続ける意欲と
粘り強さを育てます。また、そのために必要な
気力・体力を養う取り組みも工夫しています。

- 朝の「富士登山マラソン」で体力・気力を養う
- 4年生以上は選択制の特別クラブ活動も
- 栽培・飼育・観察で理料的な視点を育成
- 給食は自校方式で作りたてを提供



2 COURSES

5 KEY COMPETENCIES

昭和小学校は、文部科学省の教育課程特例校の指定を受け、
2つのコースで子どもたちの未来を広げています。





探究コースは 多彩に、創造的に。

昭和小学校「探究コース」は、探究的な学びを従来よりさらに強化。多彩な学びを積み重ね、「自ら学び続けられる」姿勢を育てます。また宿泊行事などを通して、非認知能力の育成にも力を入れています。英語教育も、独自の e-MAP や他教科連携など、1年生から充実。将来どんな道に進んでも、自分の力を発揮できる子を育てていきます。



探究コース

✓ 「言葉と体験」の往還を重視し、STEAMS 教育を推進

日々の体験を言葉にして振り返り、新たな行動につなげる「言葉と体験の往還」が、好奇心や探究心の「源」となります。また、今後の AI 社会に必要なスキルやリテラシーを養うべく、教科を横断した学びを行います。

✓ 総合学習をさらに強化し自立・自律して学べる子に

児童自らが問いを立て、学び続ける「昭和っ子の研究」(総合学習)を強化。スケジュール管理や外部との連絡も友達と協力して児童自身で行い、まとめや発表にもさまざまな工夫を凝らし、自ら学ぶ力を高めます。

✓ e-MAP*や他教科連携で、英語教育が充実

英語に慣れることが大切な 1・2年生には、先進的なプログラム「e-MAP」を導入。自然に英語に親しんでいきます。中学年からは他教科との連携を進め、高学年で英語のプレゼンテーションができるようになります。

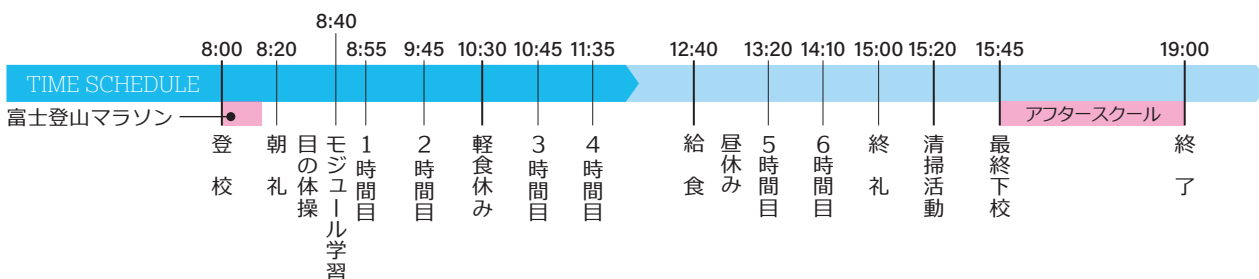
✓ 宿泊体験学習や行事などを通して非認知能力の育成にも注力

非認知能力は、集団の中で困難と解決を経験することによって培われると言われます。学園所有の「望秀海浜学寮」「東明学林」での宿泊体験や多彩な行事が、協調性や粘り強さ、判断力、行動力など幅広い非認知能力を育成します。

*e=English(英語)、Music(音楽)、Arts&Crafts(図工)、Physical Education(体育)の各1時間/週を、専科教員と英語科教員の2人で日本語と英語を使い分けながら指導します。

A DAY IN TANKYU COURSE

さまざまな取り組みが、好奇心と探究心、向上心を刺激。児童は毎日「心・体・知恵」を働かせ、着実に成長していきます。



富士登山マラソン：本校から富士山頂までの往復と同じ 256kmの走破をめざし、朝礼前に校庭を走る体づくり活動。

モジュール学習：1単位の授業を分割して毎日積み重ね、理解度・定着度を上げる短時間学習。

軽食休み：2時間目と3時間目の間は軽食休み。家から簡単な軽食(おにぎり、果物など)を持ってくることもできます。

清掃：清掃は縦割りグループで。協調性や責任感、心くばりなどを養います。





すべての教科で探究的な学びを重視し、 次代を創造的に生きる資質・能力を伸ばします。

各教科で体験と考察、解決策の模索、
友達との共有を重ねることで、
知識やスキル、非認知能力を高めるとともに、
主体性を培う5つの資質・能力(自分づくり・コミュニケーション・
思考力・表現力・持続チャレンジ)を育成します。

1年生時間割例

	月	火	水	木	金
1	国語	国語	国語	算数	国語
2	道徳	算数	英語	国語	昭和っ子の研究
3	算数	体育	図工 (E-MAP)	生活	昭和っ子の研究
4	体育 (E-MAP)	生活	図工	読書	音楽 (E-MAP)
5	国語 (書写)	音楽	算数	クラス協議会	体育 (学年)
6		国語		英語	生活

担任
 専科
 専科・英語専科

複数の教員が、一人ひとりの児童を手厚く導きます。



英語科はP13-14に。
国・社・算・理・英語科以外の教科については
ホームページをご覧ください。

国語科

Japanese

言葉による見方・考え方を働かせ、
筋道を立てて自分の考えを
表現できるように

国語の大切さを自覚して能力の向上を図る姿勢を育成します。また学年に合った語彙力や言語技術を身につけ、自分の考えを分かりやすく伝えられる力を育みます。



算数科

Mathematics

日常の事象を数理的に捉え、
数学的な見方・考え方を働かせて
問題解決できるように

課題に対して根拠をもとに筋道を立てて考え、総合的・発展的に考える活動を重視します。また解決過程などを説明し合い、互いの知識を深められるよう指導しています。



社会科

Social Studies

身近な生活を見つめて社会的な見方・
考え方を働かせ、より良い社会を考えて
実際に活かすことができるように

生活に根差した社会的事象に対し情報を選択し、体験を通して主体的に問題解決を図ります。また社会の一員としての自覚と責任、社会に働きかける喜びを学びます。



理科

Science

「なぜ?」「どうして?」を大切に
自然に親しみ、理科的な見方・考え方を
働かせて問題解決できるように

正しい知識と根拠を持って仮説を立て、実験し、結果を考察する科学的・探究的思考力を養います。また、その過程を友達と共有して互いに高め合うことも重視します。



探究コースの英語学習は、 1年生から独自のプログラムで着実に

1・2

1・2年生は
日常に英語がある環境に慣れ、親しむ

音楽・図工・体育の週1時間を専科教員と英語教員の2人で担当し、英語で授業を行う「e-MAP」。英語に自然に慣れ、反応する力を養うとともに、自分から進んで英語に取り組むようになります。

- e** ENGLISH
- M** MUSIC
- A** ARTS & CRAFTS
- P** PHYSICAL EDUCATION

e-MUSIC

英語と音楽は、相性バツグン！



英語の歌を歌ったり、英語の指示で楽器を演奏したり、楽器や音符記号の名前を英語で学んだり。リズムやメロディーに合わせると、英語が耳に入りやすく大きな声で発音できるので、楽しく親しみやすく英語が好きになっていきます。

英語の通常授業も、 英語で指導

1年生から週2回、英語の授業があります。ネイティブ教員と日本人教員の2人体制で指導。e-MAPとも連携しながら、初めて英語に触れる子どもも、既に英語に親しんでいる子どもも、楽しんで活動できるように工夫しています。



e-ARTS & CRAFTS

聴く力、表現力を育てます。



絵や工作の指導に関しては専科教員が日本語で、準備の説明や自作の紹介などは英語で行います。手順などを英語で注意深く聞く力や集中力などが育つとともに、英語で表現する楽しさを味わい、語彙力もアップ！英語をもっと話しくなります。

e-PHYSICAL EDUCATION

英語に反応して、考えなくても カラダが動くように。

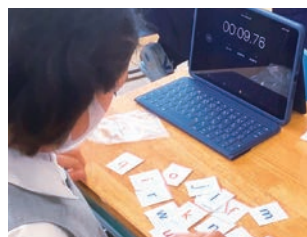


運動能力に関わる指導は専科教員が日本語で、運動の際の掛け声や、できた回数や距離のカウントは英語で行います。英語に自然に反応する力を養い、英語が母語の子どものように「英語がカラダに染み込む」状態をつくります。

3・4

3・4年生は、音と文字で基盤を身につけ、モノづくりやクイズ形式で英語を楽しむ

大文字・小文字をマスターしてからアルファベットを発音上の音(ア・ブ・ク等)で学びます。この英語圏の指導法で初見の単語もスムーズに読めるようになります。またテーマベースで実践的に英語を使っていきます。



ビュンビュンごまを作ろう！



英語だけを学ぶのではなく、他教科の要素も取り入れながらテーマベースで学習。実践的な英語に触れていきます。またグループ学習も取り入れ、役割分担をしたり他チームとタイムを競ったりします。

ブロックを数えてみよう！



ブロック図の前に、数字や計算の記号の言い方を確認した後、自分なりの計算式でブロックを数え、英語で発表します。算数で学んだことを生かしながら「英語で説明」にチャレンジ。

5・6

5・6年生は、他教科とも連携するテーマを英語で学び、英語で考え・表現できるように

理科や社会など他教科と連携して、辞書やタブレット、デジタルブックなどで知りたいことを調べ、考え、英語プレゼンテーションまで行います。

その過程で「聞く・読む・話す・書く」の4技能も高まります。

社会科との連携



読み方が難しい日本の県名・地名をローマ字で学習。そこから興味を世界に移し、行ってみたい国の魅力を調べて一人一人が英語でポスターをつくり、プレゼンテーションをします。

自分の考えを英語でやり取り



6年生になると、「聞く・読む・話す・書く」の4つのスキルを高めると同時に、目標達成にむけて学習方法も自分で選択。さらにアピール力ある英語プレゼンテーションができるようになります。プレゼンテーションの準備では、クラスメートと英語で質問したり答えたりもします。

理科・家庭科との連携

発芽から生育、収穫、料理まで3教科の連携で「とうもろこしの一生」を学びます。



理科の時間に発芽実験。赤く色づけされたものがとうもろこし。とうもろこしの種子について英語で学びます。

発芽した種子を、英語の指示で土に植え替えます。生育に必要なことを意識しながらグループで実践。



収穫したとうもろこしは乾燥させ、家庭科の時間に英語の指示でポップコーンをつくります。

1年生

探究コースは、気づいて、やって、考えてみる活動を通し、知的な好奇心と探究する心を育てています。

01 いきもの大好き！ 飼育・観察から「問い」へ

探究の面白さは、自分の考えたことに没頭することです。学校や公園で見つけた虫やニホントカゲを教室で飼育・観察。飼育しているからこそ生まれた「なぜ？」「どうして？」を原動力に「身近ないきもの」についてたくさん研究をしました。



02 相模原ふれあい科学館 で五感をフル活用！

相模原ふれあい科学館では、気になったいきものを目の前で観察できました。みんなの注目は魚のエサやり体験。たくさんの魚が泳ぐ水槽に、勇気を出して手を入れ、直接エサを与えることで、子どもたちの好奇心をさらに刺激しました。



03 虫博士にたくさん質問！ 粘土でフィギュア制作

虫博士、岩泉先生をゲストティーチャーにお招きし、たくさんの質問をしました。博士がお持ちになった本物そっくりの虫フィギュアを見て、「いきもののフィギュアを作りたい！」という想いが芽生え、紙粘土でイモムシを作ることになりました。



04 いきものの動きを プログラミング

昭和女子大学初等教育学科の森先生のご指導で「動くおもちゃのプログラミング」を学んだことをきっかけに、身近ないきものの動きを再現することに。いきものをよく観察して試行錯誤した結果、納得がいく動きをプログラミングできました。



2年生

2年生は、1年生の体験を活かしながら学びの連続性を重視。他教科との連携も進め、より深く探究の面白さを実感していきます。

01 木の探究 × 算数で自然と図形とアートを

「昭和っ子の研究」のテーマに「木」を選び、伐採現場や材木工場では五感を使って学びました。その後は教室で、算数の「三角形と四角形」の単元で学んだ敷き詰め模様を応用して寄木細工に挑戦。オリジナルのコスターを作りました。



02 植物博士になろう～植物の体と遊び～

校内のあちこちで植物をじっくり観察しました。見るだけでなく実や種をそっと指で転がしたり、葉や茎、根に触ってみたい。実際に触れることで「ここから芽が出るんだ」「この根が水を吸うのか」と、植物の働きを自分の感覚で確かめました。



03 体験から広がる英語の学び

英語の授業でもさまざまな探究学習を行っています。例えば白いカーネーションを色水につけ、色変化を観察しながら英語の色表現を学んだり、紙で蝶を作って花壇に置き、感じたことを英語で伝え合ったり。実体験を通して学びを深めました。



04 インセクトホテルで植物の役割を考えてみた

1年生の時に学んだ「虫のくらし」を土台に「植物と虫の関わり」という視点で学習。植物が虫にとって身を守る場所になっていることを確かめるために「インセクトホテル」を作って昭和の泉に設置し、植物と虫の相性なども調べました。



国際コースは

学校生活の6割を英語で。

昭和小学校「国際コース」は、日本の小学校(一条校*1)で初めてのケンブリッジ国際認定校。
1クラス36名の児童に対し、バイリンガルの日本人教員1人、外国人教員2人の3人担任制のもと、
英語イマージョンと日本語による教育の両輪で、将来、グローバル社会で
活躍する基礎となる力を、しっかりと育てていきます。



国際コース

✓ 学習指導要領に則りながら、 授業の6割が英語イマージョン

入学時から、国語・道徳・社会(3年生以上)以外の教科は文部科学省の学習指導要領に沿った内容を英語で教える英語イマージョンで指導。世界標準の英語力と日本の小学校の基礎学力を獲得させます。

✓ 日本語による言語活動や 母国文化に触れる体験が充実

国語は日本人教員が担当し、日本語の言語感覚を養います。伝統芸能の鑑賞や季節の行事を通して、日本文化についても教養を深めます。

✓ 卒業までにCEFR*2「B1」(英検2級相当) の習得を目指して

CEFR「B1」(身近な話題について主要点を理解しながら話し合え、シンプルながら筋の通った文章を読み書きできる)レベルを目指すとともに、グローバルマインドも醸成。リーダーシップを発揮できる「グローバル人材」を育てます。

✓ 昭和ボストンをはじめ、 海外体験学習が充実

全員が学園所有の「昭和ボストン」で研修。充実したプログラムで現地の先生や児童と学びます。また街の人々と触れ合う機会も設けます。ボストン以外の海外研修も計画しています。

*1：学校教育法が卒業資格を認める学校。

*2：聞く・読む・話す・書くの4技能の習熟度と運用能力をA1/A2、B1/B2、C1/C2の6段階で評価する国際基準指標＝Common European Framework of Reference for Languages。

学習指導要領とも、 本校の教育方針とも親和性が高い ケンブリッジ国際カリキュラム。

世界各国で広く導入され、実績を重ねてきたケンブリッジ国際カリキュラムは、科目ベースの体系を持つため、学習指導要領との親和性が高いのが特徴です。また、ケンブリッジ国際カリキュラムが掲げる6つのコンピテンシーは、昭和小学校が重視する5つの資質・能力や探究的な学び、非認知能力の育成と重なるものが少なくありません。そのため、昭和小学校・国際コースは、ケンブリッジ国際カリキュラムを採択。世界で日本で、世のため人のために活躍できる基礎となる力を育成していきます。

世界共通で使われる Cambridge Primary Textbook



英語でも日本語でも、 自分の考えをしっかりと発信できるように。

国際コースは、英語のスキルを上げるだけでなく、日本語や日本文化もしっかり学びます。世界に目をむけて日本を理解する視野を育て、日本語の読解力や表現力も高いレベルが身につくよう指導します。英語と日本語の両方を使いこなし、相手によって英語と日本語を使い分けてコミュニケーションを展開。内容のある発信ができる子どもたちの育成を目指します。



2023年10月に、
ケンブリッジ国際認定校となった
認証式が行われました。
学園全体で国際コースをバックアップしています。

ケンブリッジ国際カリキュラム 6つの Competencies

Creativity

創造性

Collaboration

コラボレーション

Communication

コミュニケーション

Critical Thinking

批判的思考

Learning to Learn

学ぶことを学ぶ

Social Responsibilities

社会的な責任



A DAY IN KOKUSAI COURSE

朝は探究コースの児童と一緒に「富士登山マラソン」でスタート。
英語と日本語の両輪で、グローバルに生きる基礎を育みます。

TIME SCHEDULE

8:00	School Arrival 登校 Mt. Fuji Climbing Marathon 富士登山マラソン
8:20	Homeroom 朝礼・目の体操
8:40	Module Learning モジュール学習
8:55	Period 1 1時間目
9:45	Period 2 2時間目
10:30	Snack Break 軽食休み・パーテーション設置
10:45	Period 3 3時間目
11:35	Period 4 4時間目
12:40	School Lunch 給食 Lunch Break 昼休み
13:20	Period 5 5時間目
14:10	Period 6 6時間目
15:00	Homeroom 終礼
15:20	Cleaning Activities 清掃活動
15:45	School Dismissal 最終下校 After-school アフタースクール
19:00	End of the day 終了

富士登山マラソン



本校から富士山頂までの往復と同じ256kmの完走を目指し、朝礼の前に校庭を走ります。同じ時間に探究コースの児童も走るので、交流もできます。

朝礼・目の体操

朝礼は日直が英語で司会。目の体操もして、さあ、素敵な1日の始まりです。



モジュール学習

1単位の授業を分割して行う短時間授業。繰り返し学べるなど高い学習効果が期待できます。



1・2時間目



今日の1・2時間目は国語。日本人教員が、丁寧に指導します。学習アプリも活用します。



パーティション設置

教室で行う英語イマージョンでの学習は、教育効果を高めるためにクラスを2つに分け少人数制にすることも。Snack Breakの間に、教室を前後に分けるパーティションを設置します。



3 時間目



英語科にあたるのがELA(English Language Arts)。ケンブリッジ国際教育カリキュラムも取り入れながら、「聞く・話す・読む・書く」の4技能を磨き、国際社会で求められる「伝える力」を育成します。

5 時間目



MATHEMATICS(算数)も英語イマージョン。ケンブリッジ国際教育カリキュラムも取り入れながら、英語に翻訳された検定教科書や練習ノートを使い、探究コースと同じ内容を学んでいます。

4 時間目



音楽も英語イマージョン。大きな声で歌ったり、リズムを打ったり、英語の音感や発話に慣れ親しんでいます。

6 時間目



今日の6時間目は Life Science (生活科)。校外学習で拾ってきた枯れ枝や松ぼっくりなどを使って、思い思いのおもちゃを作ります。



給食



給食の時間もなるべく英語で。自校方式で作った給食は、専任の管理栄養士が献立を考えます。

終礼

終礼も英語で行います。

アフタースクール

放課後は、探究コースの児童と一緒に活動する「昭和小学校アフタースクール」(社会福祉法人共済会SHOWAが運営)も利用できます。



学習指導要領に添いながら、
ケンブリッジ国際カリキュラムと
本校独自の工夫を組み合わせて行われます。

国語・道徳・社会(3年生以上)の教科は、日本人教員が日本語で、
それ以外の教科は、英語で学ぶ英語イマージョンで指導します。
学ぶ内容は探究コースと同じく本校のカリキュラムに則り、独自の工夫で多彩な取り組みを展開します。

1年生時間割例

	Mon		Tue		Wed		Thu		Fri	
	Class A	Class B	Class A	Class B	Class A	Class B	Class A	Class B	Class A	Class B
Module	KOKUGO 10 minutes		KOKUGO 10 minutes		KOKUGO 10 minutes		KOKUGO 10 minutes		KOKUGO 10 minutes	
1	Ethics		Kokugo		Kokugo		Kokugo		Kokugo	
2	Kokugo		Kokugo		Kokugo		Kokugo		Homeroom Activities	
3	ELA	ELA	Music	Music	Music	Music	ELA	ELA	ELA	ELA
4	P E		P E		P E		Math	Math	Math	Math
5	Math	Math	ELA	ELA	Life Science	Life Science	Life Science	Life Science	Art	
6			Math	Math			Life Science	Life Science	Art	

授業の6割が英語で行われます。

■ 日本語で学ぶ時間 ■ 英語で学ぶ時間



KOKUGO

「聞く・話す・読む・書く」の 4技能を身につけます。

1年生の入門期として聞く・話す活動がスタートし、平仮名学習も並行して進めていきます。語句への関心を高めながら、語彙力を身につけ、自分の思いや考えを伝える力を高めていきます。また、言語活動を通して見方や考え方を広げ、言語技術の習得を大切にしていきます。



MATHEMATICS

検定を経た英語教科書を使用し 本校ならではの工夫をプラス

文部科学省の検定を経た英語版の教科書を使用し、テストも英語で行います。教室にあるものの長さを紙テープで測り英語で説明したり、算数ブロックを使って引き算のやり方をワークシートに書いたりするなど、より具体物を通して数量への関心を高め、見方・考え方を養います。



ELA (English Language Arts)

将来、英語で活躍するための 読解力、発信力の基礎を

ケンブリッジ国際教育カリキュラムを取り入れながら、「聞く・話す・読む・書く」の4技能を磨き、国際社会で求められる「伝える力」を育成します。さまざまな本や文章を通じて内容を深く理解し、自分の考えを効果的に言葉や文章で表現する力を伸ばしていきます。また、批判的思考や創造的な発想力も養います。



LIFE SCIENCE

生活科を通して 英語で世界とつながる学びを

学習指導要領に則り、英語で生活科を学習しています。体験と英語を直接結びつけて理解を深め、日本語に置き換えずに学ぶことで、「気づき」「考え」「表現」を重視した生活科の学習過程が、より一層充実します。



1年生

国際コースは、英語と日本語で楽しく学びながらグローバル社会で活躍できる基礎となる力を育てています。

01 読み聞かせで楽しく英語力アップ

読み聞かせの時間には、どんな話だったか？登場人物はだれか？何をしていたか？タイトルは何か？に加え、新しい言葉や分からない言葉の確認なども行います。みんな読み聞かせが大好きで、わくわくしながら聞き入っています。



02 「かたち」をテーマに幅広い学習を

家から箱を持ち寄り、かたちを英語で伝えたり、箱を使ってグループでいろいろなものを作ったりしました。「Let's guess the shapes in the box(どんなかたちか考えよう)」では、触った箱のかたちを英語で説明し、当てる学習もしました。



03 校外学習を英語でプレゼンテーション

品川水族館に行き、それぞれ自分で興味をもった海の生き物を中心に観察したり調べたりしました。後日、学習した海の生き物の色や形、動きなどをイラストも交えて英語でワークシートにまとめ、先生やみんなの前で発表しました。



04 生活科の学習で世田谷公園へ秋を探しに

紅葉した葉っぱやどんぐりを探したり、「Yamanote Line Game」や「Duck Duck Goose (ハンカチ落とし)」、「Four Corners(4色のコーンに移動する遊び)」を行ったりしました。拾ったどんぐりは、生活科のおもちゃ作りにつなげます。



2年生

2年生は、1年生で培った英語での学びを土台に、表現力や思考力をさらに高め、主体的に英語を使う力を伸ばします。

01 TUJで 大学生との交流

年2回、TUJ(Temple University Japan Campus)と交流を実施しました。大学生と英語で Scavenger Hunt や Storytelling に取り組み、実践的な英語力と国際感覚を育みました。



02 毎朝の Speech Time

毎朝、好きなことや休みの思い出を英語でスピーチ。iPadで画像を映したり、思い出の品を手に持って話したり、発表の方法も工夫しました。質問や応答の時間もあり、伝える力と表現力を育てます。



03 TOEFL Primary®で 英語力を客観的に把握

英語力を客観的に測るため、年1回 TOEFL Primary® を受験しています。日頃の学びの成果を可視化し、達成感や自信を高めるとともに、今後の英語学習への意欲を高め、目標意識を養います。



04 生活科の時間に 1年生と交流授業

1年生が公園で拾ったどんぐりや葉っぱを使っておもちゃを作り、2年生を招待してくれました。2年生は動くおもちゃを工夫して1年生を招待。学年を越えてお互いに楽しみながら学びを深めました。



A YEAR at SHOWA

成長の1年

4

- 入学式 ●花まつり ●マラソン出発式
- 文化行事 ●春の遠足(2~6年生)

5

- 春の遠足(1年生) ●田園学寮(4・5年生)
- 田植え体験(4・5年生) ●昭和っ子の運動会

6

- 2年生 学校宿泊(災害対策)

7

- 修学旅行(6年生)

8

- ボストン・フレンドシップ・ツアー
(5・6年生希望者)

9

- 防災訓練 ●稲刈り体験(5年生)
- 1年生 学校宿泊(災害対策)

10

- 慰霊祭 ●校外学習(2年生)
- 文化行事

11

- 墓前祭 ●昭和祭
- 校外学習(1年生/東明学林)
- 社会科見学(5年生)

12

- 音楽会 ●もちつき(6年生)
- 社会科見学(3・6年生)

1

- 賀詞交換 ●席書会
- カルタ会
- 海の学校(3・5年生)

2

- まめまき
- 社会科見学(4年生)
- 昭和っ子の研究報告会 ●卒業旅行(6年生)

3

- カード贈呈式 ●卒業式



※年間行事は変更になる場合があります。 2025年度実施



BOSTON FRIENDSHIP TOUR

ボストン フレンドシップ ツアーで海外体験

現在は5-6年生の希望者が学園所有の海外研修施設「昭和ボストン」で行っているボストン フレンドシップ ツアー。

ボストンでは現地のスタッフと触れ合い、現地の先生や小学生と一緒に学びます。

ツアーの前後にもペンパルとレターを交換し、現地の子どもたちとの交流を行います。

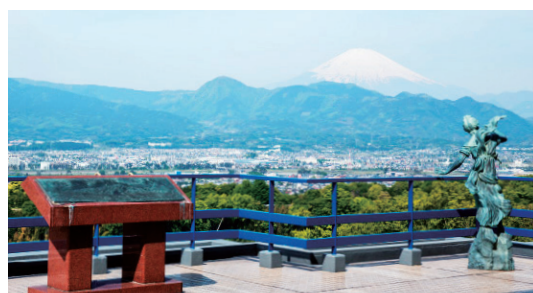
「英語を学ぶ」とどまらず「英語で学ぶ」モチベーションも高めます。





望秀海浜学寮(千葉県館山市)

千葉県館山市にある学園所有の研修学寮。1年を通じて温暖な気候に恵まれ、眼前には房州で最も穏やかと言われる鏡ヶ浦の海が。四季折々さまざまな自然を体験できます。



東明学林(神奈川県足柄上郡)

神奈川県足柄上郡にある学園所有の研修学寮。約12万㎡の敷地を持ち、富士山と箱根の山並み、相模湾を一望。午前は教室や野外で学習し、午後は奉仕活動などを行います。



安心・安全のために



登下校は保護者に自動送信

通学時は正門のセンサーで登下校を感知して保護者に自動送信。児童の通学与保護者の安心をサポートします。



訓練と備蓄で災害対策

定期的に防災訓練や集団下校を実施。いざという時のために寝袋の常備や食糧の備蓄も進めています。

Preparing for The FUTURE

自分リーダーシップで広がる未来へ

昭和小学校は、進路指導を「将来、自分らしさを発揮して
社会に貢献するためのキャリア教育」と捉え、

「自分は何が好きか、得意か」

「育まれた5つの資質・能力を将来どう活かしたいか」

「そのためにどんな道筋を進むべきか」などの視点を大切に、

一人ひとりが主体的に次の成長ステージを熟慮し、

挑戦する力を養います。



卒業後の進路図は
こちらをご覧ください。



「自分」「将来」を考えることが、 キャリア形成の第一歩

高学年になると「将来の夢」というテーマで作文を書きます。
自分の好きなこと、家族と話していることなどを振り返ること
で、「進みたい道」が見えてきます。

多彩な出会い、体験を通して 好きな道を見つけられるように

人見記念講堂での文化体験や宿泊行事、総合学習やボストン・フ
レンドシップ・ツアーなど、多彩な出会いや体験が将来を考える
きっかけとなります。

卒業生講演で先輩の実体験に触れ、 将来像がリアルに

さまざまな分野で活躍する卒業生の方々をお招きし、さまざまな
体験や展望などを伺います。憧れと親近感を抱きながら、将来像
をより具体的に描けます。

女子は約80%が附属中学へ、 将来像を考慮し外部中学へ進む子も

附属昭和中学校は本科コース、グローバルコース、スーパーサイ
エンスコースの3コース制。

進学相談で将来の夢・適性・学力などをていねいに検討します。
国際コースは、培った英語力を発揮して未来を拓きます。

男子は全員が外部中学へ、 高いレベルの進学を実現

昭和小学校で主体的に学ぶ姿勢と高レベルの基礎学力を身につ
けているので、希望に沿った受験が可能です。本校を会場とする
外部中学の説明会も行い、進路の見通しや学習意欲向上につな
げます。

男子の主な進学先

- 筑波大学附属駒場中・高等学校
- 青山学院中等部 ○浅野学園浅野中学校 ○麻布学園麻布中学校
- 栄光学園中学高等学校 ○海城中学校 ○開成中学校
- 学習院中等科 ○暁星中学校 ○慶應義塾中等部 ○慶應義塾普通部
- 攻玉社中学校 ○國學院大學久我山中学校 ○栄東中学校
- 巣鴨中学校 ○成蹊中学校 ○聖光学院中学校 ○世田谷学園中学校
- 東京農業大学第一高等学校中等部 ○桐朋中学校
- 函館ラ・サール中学校 ○法政大学第二中学校
- 本郷中学校 ○武蔵中学校 ○明治大学付属中野中学校
- 立教池袋中学校 ○立教新座中学校 ○早稲田中学校 など

AFTER SCHOOL

昭和小学校アフタースクールは、小学校と密に連携

社会福祉法人共生会SHOWAが運営。
学園施設を活用して充実した放課後を

「昭和小学校アフタースクール」は
社会福祉法人共生会 SHOWAが運営する学童保育です。
昭和女子大学附属昭和小学校に通う
1年生～6年生の児童が利用できます。
昭和女子大学キャンパス内にあるグラウンドや
体育室、特別教室などを広く活用しています。
季節のイベントはもちろん、昭和女子大学の協力のもと
多様なプログラムを提供し、
児童の健全な成長をサポートします。



まず宿題。それからおやつ。
そのあとは校庭で遊んだり、習い事をしたり。

アフタースクールの過ごし方	下校後入室	入室管理システムより保護者へ児童の入室通知が届きます。
	宿題チェック	1・2年生はスタッフが確認。終わった児童から自由活动。
	おやつ 15:00	味や食感が異なるおやつを提供。児童がお当番を行います。
	習い事	キャンパス内で習い事に参加できます。実施場所までスタッフが送迎します。
	体育室・校庭遊び 16:00	希望者はキャンパス内の校庭や地下体育室で遊びます。
	本室へ移動 18:00	帰宅の準備をします。
	閉室 19:00	●休校日や長期休暇中は 8:30 開室 19:00 閉室 ●土日・祝日・年末年始は閉室

習い事(オプション)は、外部の専門講師やコーチが
個人またはグループで丁寧に指導します。

項目	実施曜日	実施場所
サッカー	月・金	校庭/8号館西棟地下体育室
英語 I	月・火・金	アフタースクール本室
英語 II	水	アフタースクール本室
体育クラブ	火・水	8号館西棟地下体育室
スイミング	火	西体育館室内プール
ピアノ	月・火・水	4号館ピアノ室
STEAM	木・金	アフタースクール本室



サッカー



英語



体育クラブ



スイミング

昭和小学校アフタースクール(学童保育) お問い合わせ



社会福祉法人共生会SHOWA 昭和小学校アフタースクール

〒152-0002 世田谷区下馬2-37-15 昭和女子大学S-A棟1～4階 TEL.03-6413-8350(10時～19時)
Mail: aschool@kshowa.or.jp

活躍の場を広げる 昭和っ子たち

「意欲と態度」を大切にする昭和小学校は、校内における学びの質を高めると同時に、学校外のさまざまな活動に関しても、子どもたち自身が「やってみたい」と手を挙げたことを積極的に応援しています。2025年度も子どもたちはさまざまな校外大会に挑戦。素晴らしい体験と大きな成長を得ました。

》世界最大規模のロボティクス競技会に、5・6年生のチームが出場

国内大会では3チームとも受賞

「VEX IQ Robotics Competition」は、一般社団法人青少年STEM教育振興会が主催する国内最大級のロボティクス競技会。2025年2月に行われた全国大会のエレメンタリースクール部門に本校の5・6年生で結成したチームが出場しました。

この大会はチームワーク・チャレンジ、ロボットスキル・チャレンジなど競技での得点に加え、ロボット制作過程を記録した「エンジニアリングノートブック」に基づくメンバーへの英語インタビュー、競技中の行動や会話、他のチームとのコミュニケーションなどが総合的に評価される厳しい大会です。

昭和小学校の3チームはいずれも高い評価を受け、「DamBare」チームが総合的な優秀性を評価する Excellence Award を、チーム「Sakura」が Sportsmanship Award を、チーム「GS4」が Inspire Award を受賞しました。

本校では1年生から全学的にプログラミング教育を推進し、さらに深く学びたい児童には、STEAM ロボット教材である VEX を使用した課外活動を行っています。今回はその過程で5・6年生の有志が「大会に出場したい」と挙手。VEXの考え方である「student-centered learning」に基づいてロボットを制作し、チームで試行錯誤しながら解決策を見出してきました。

「DamBare」が世界大会へ

国内大会で「Excellence Award」を受賞した「DamBare」チームの4人は、5月に米国テキサス州ダラスで開催された世界大会「VEX Robotics World Championship」に日本代表として出場することになりました。世界大会には各国から多くのチームが集結。我が「DamBare」チームも試合に挑むかわら、他国のチームと一緒に練習したり、英語でコミュニケーションを取ったり、掛け替えない経験と思い出を得ることができました。



》全国規模の英語スピーチ大会で国際コース児童が「Winner」に

校内選考を経て、 全国大会に2名が出場

2025年11月30日、千代田区丸の内日本外国特派員協会で開催された英語スピーチ大会「Voices of Tomorrow SPEECH CONTEST 2025」の一般部門：小学1～2年生の部に、国際コースの2年生2名が昭和小学校代表として出場しました。



一般部門は、有名人のスピーチ、昔話、詩などの課題から一つ選んで暗唱し、審査員や聴衆の前で披露するもの。本校の2人は、「I AM」 「How the Moon Got in the Sky」という詩を選び、約2分間にわたる暗唱スピーチにチャレンジしました。

事前に複数の児童による校内予選で2人を選出。2ヶ月間に渡り、国際コースの教員のサポートのもと、単純な暗記や発音だけでなく、抑揚や目線、手振りなど、どう表現したら聞く人の心に届くかも含めて、一生懸命に練習。クラスメートの前で事前発表するなど、大勢の前でスピーチする度胸も養いました。

1人が1～2年生部門のWinnerに

全国大会当日は、国際的な情報発信の中心である日本外国人特派員協会・外国人記者クラブの雰囲気緊張しつつも、多くの聴衆を前に臆せずスピーチ。発音はもちろん声の大きさ、

話し方、間の取り方などすべてが素晴らしい、1人が一般部門・小学校1～2年生の部の第1位「Winner」として表彰されました。

審査員の方からも「小学2年生とは思えない堂々とした

佇まいで聴衆を魅了した」と高い評価をいただきました。Winnerになった子も「緊張しましたが、いっぱい練習をしたおかげで、壇に上がったらずいぶん落ち着きました。一緒にがんばってきた友達も喜んでくれ、とても嬉しかったです」と話し、「外国人に思いを伝える喜び」に目覚めたようです。





岡野 栄之 先生

慶應義塾大学再生医療リサーチセンター長
国際幹細胞学会 理事長
校友会（昭和小学校会卒業生の会）第5代会長

昭和幼稚園、昭和小学校卒業。慶應義塾大学医学部卒業。
神経幹細胞が存在することを発見。現在iPS細胞による再生医療研究に注力。
脊髄損傷等の不治と言われる神経疾患の治療の実現に取り組んでいる。
昭和小学校の評議員でもある。



鶴岡 公二 先生

元駐英大使
国際情勢研究所所長

東京大学法学部卒業後、外務省入省。
TPP（環太平洋経済連携協定）政府対策本部首席交渉官に就任。
大筋合意に尽力する。その後、駐イギリス特命全権大使に就任。
外務省きっての英語の使い手と言われ、天皇陛下や歴代総理の通訳を務めた。

総括監修の両先生による

キャリア講演会 REPORT 2026

昭和小学校は、世界で目覚ましい活躍をされている岡野栄之先生、鶴岡公二先生を総括監修にお迎えしています。
2026年2月、4月入学予定の新1年生の保護者を対象に、お2人の広く深い知見をお話いただきました。

講演会では、鶴岡公二先生から「戦後から現在に至る国際情勢と日本の歴史的役割」「人間の安全保障理念」「教育（特に英語習得と国際性）の重要性」が、岡野栄之先生から「慶應義塾大学を中心とする再生医療・神経科学の研究史」「最新のiPS細胞臨床の進展」「さらに若い世代への学習・進路アドバイスと学校コミュニティの今後の計画」が語られました。

鶴岡公二先生の講演では約43年の外交経験を踏まえ、欧州中心史観を相対化しつつ明治以降の日本が非西洋世界に与えた励起効果と、日本の寛容・共存文化の現代国際社会における有効性、また力による支配は長期安定を生まないとの指摘、さらに人間の安全保障において一人ひとりが安心して能力を発揮できる環境づくりが国家の安定と国際平和の鍵であるとお話がありました。

教育面では国際性の中核として英語の重要性を挙げ、「耳が開く」音声の早期実践（BBC ニュースの多聴等）を推奨し、学校・家庭が受け身ではなく、あらゆるものを主体的に活用する姿勢を促されました。

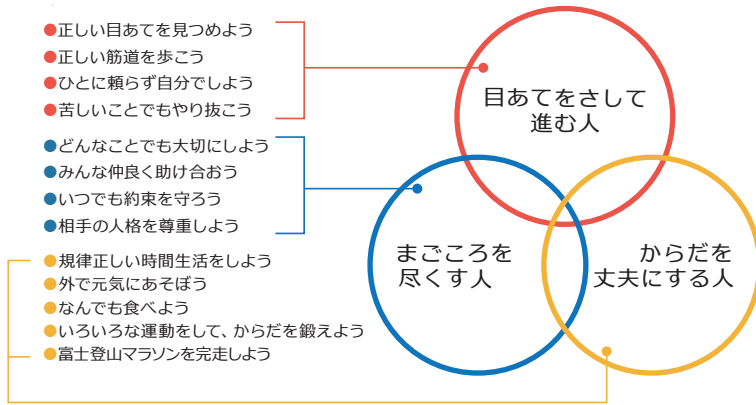
岡野栄之先生の講演では、昭和小学校の総合学習で身についた「探究・プレゼン能力」が今も役立っていることに言及しながら、がん遺伝子研究から神経科学へ転身し、ショウジョウバエ研究で Musashi（武蔵）

遺伝子を発見、さらに1998年にヒト脳神経幹細胞を同定した研究を紹介。2002年にラット、2005年にサルで神経幹細胞移植による運動機能回復を達成するも、胎児由来細胞の倫理的制約により臨床に進めない課題に直面する中、2006年のiPS技術が突破口となって国の支援の下、京都大学が治療用iPSを作成し、慶應義塾大学が神経幹細胞化・移植を担う体制を構築した過程が語られました。

その後コロナ禍による一時中断を挟み、世界初のiPS由来神経幹細胞の脊髄損傷患者への移植を実施し、4例で1年以上の安全性を確認。その内2例で二段階以上の運動機能改善を達成したこと、今後は治験による承認を目指していること、日本がiPS臨床で世界を先導する現況と米中の追い上げ、産業化・人材育成の課題が示されました。

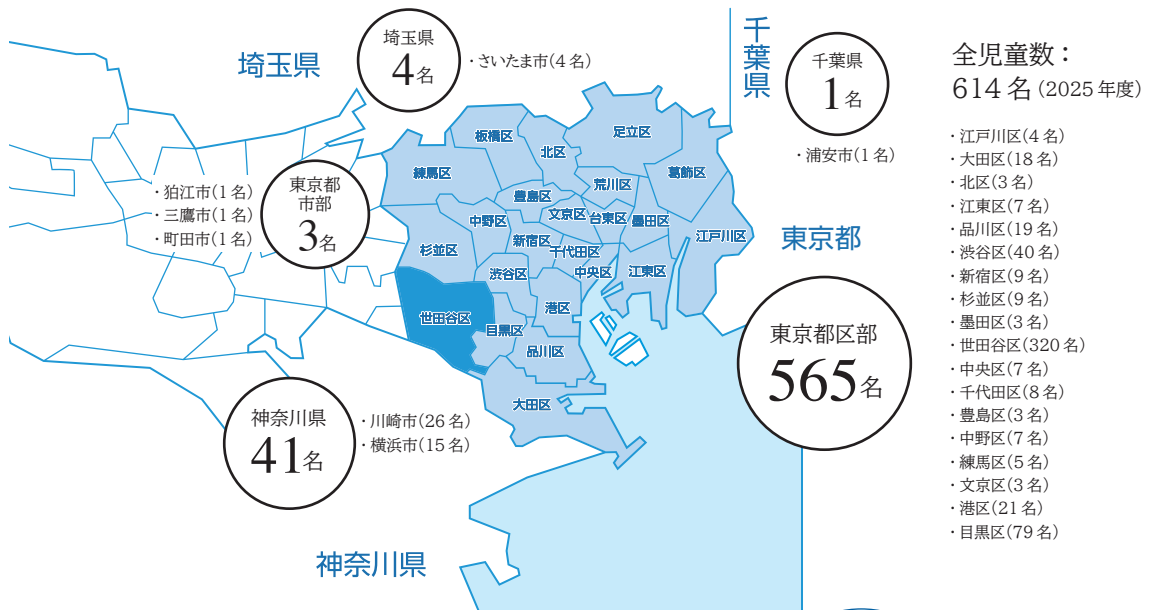
講演後半では、網膜再生の先達や若手研究者の紹介、岡野先生自身のMITにおける国際研究活動、国内の産学医エコシステム構想に加え、昭和小学校について昭和ポストンの活用促進、英語・日本語・コンピュータサイエンス教育の早期強化、CLIL的アプローチ、長期的な人生設計とチーム形成の重要性、同窓会（校友会約6,000人）のネットワーク機能強化など、多岐にわたるお話がありました。

昭和小学校 3つの目標



建学の精神
「世の光となろう」を小学生に
分かりやすく表したのが
「3つの目標」です。

在校生の通学地域



SCHOOL UNIFORMS



校内着は、女子児童が夏服の期間に校内で着用するもの。快適性と動きやすさを追求しています。

冬服

夏服

校内着 (女子のみ)

体操着 (男女共通)



HISTORY

OF SHOWA WOMEN'S UNIVERSITY ELEMENTARY SCHOOL

初代理事長 人見 圓吉

学園創立者・初代理事長 初代校長。斬新華麗な詩風で知られた詩人でありながら、「愛と理解と調和を旨とする教育」の中に理想を見出し、本学園の前身「日本女子高等学院」を創立。以後、震災・戦災・火災等に遭うも、昭和学園のために生涯を全うしました。



1953

昭和女子大学附属
昭和小学校 設立
人見 圓吉
初代校長就任

児童 56名 専任教員 3名
幼稚園から大学までの
一貫教育体制を整えました。



1959

第1回卒業式 挙行

計62名の卒業生が
たくさんの学びと貴重な体験、
大切な思い出を胸に
次のステージへ飛び立ちました。



1965

第2代校長 人見 楠郎

第2代理事長 第2代校長。創立者の遺志を継ぎ、国際化社会に対応する理想の学園建設を目標に環境を整備し、常に新しい教育を実践。建学の精神を「世の光となる」という言葉に託し、高い理念と情熱で、幼稚園から大学院までの一貫教育体制を完成させました。



1977

東明学林 竣工

神奈川県足柄上郡に位置する
学園所有の研修学寮。
雄大な自然に恵まれ、
昭和小学校の宿泊体験学習
の拠点となっています。



1988

昭和ボストン開校

アメリカ・ボストンの郊外に
学園全体の英語教育、
グローバル教育の拠点となる
海外キャンパスを開校しました。



2016

大規模遊具 完成

自分たちで工夫することにより、
さまざまな遊び方ができる
大規模遊具を、校庭に設置。
毎日の遊びを通し、「からだ」「こころ」
「知恵」を大きく成長させています。



2020

学園創立100周年

1920年9月に前身となる
「日本女子高等学院」を創立して
以来100年。幾多の困難を克服
してこども園から大学院まで
の一貫教育体制を確立し、
「世の光となる」人材の
育成に注力し続けています。



2023

小学校創立70周年

1953年の創立以来、
常により良い教育環境、教育活動を
提供してきた昭和小学校は、
70周年を機に、
新たな教育体制をスタート。
子どもたちの未来により寄与できる
小学校教育を展開しています。



2024

入学時からの 2コース制、発進

より創造的な教育を実現する
「探究コース」、一条校ながら
世界標準の力を育む「国際コース」。
2つのコースで、次代を担う
子どもたちをさらに高いレベルに
導きます。



折々の歌が、 心と絆を育てます。

昭和小学校では毎日の朝礼や行事などの折りに、
昭和の子どもたちを励ます
さまざまな学園歌を歌っています。
たくさんの歌声が一つになって、
美しい大きな世界ができあがる経験は、
子どもたちの心を豊かに育てます。

校歌

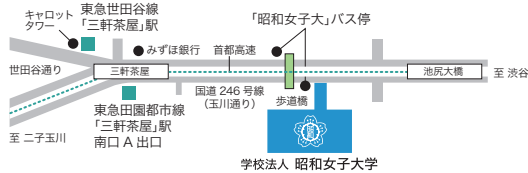
詞：人見補郎

武蔵野の
広い青空あおいでは
緑の若木が
言いました、
『あらしや日照りに
負けないで
強く伸び立つ木に
なりたいたい』と。

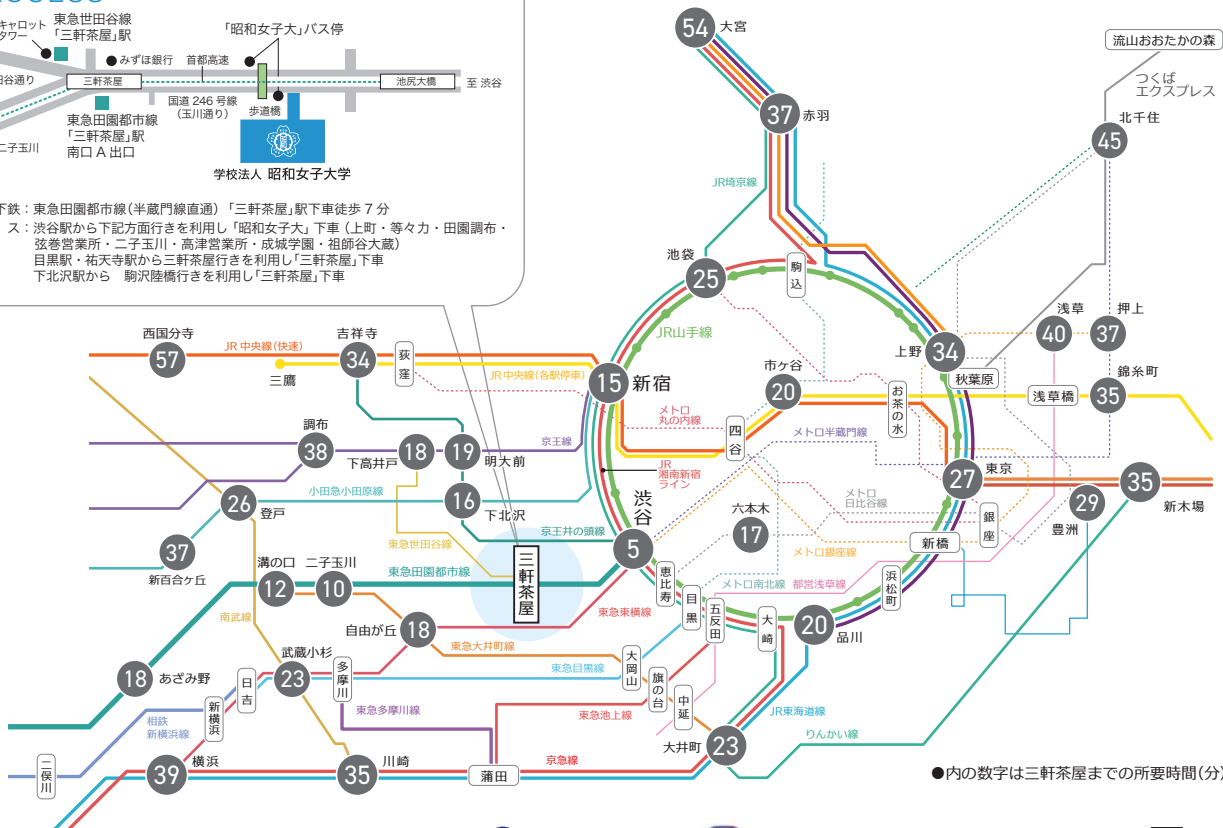
多摩川の
清い流れを眺めては
小鳥と小鳥が
言いました、
『みんなで仲良く
元氣よく
あの山この海
とびこえたい』と。

学びやに
かおる桜を見あげては
昭和の子どもが
言いました、
『花咲きさあう
その日まで
いつてもいつても
前進しよう』と。

ACCESS



地下鉄：東急田園都市線(半蔵門線直通)「三軒茶屋」駅下車徒歩7分
バス：渋谷駅から下記方面行きを利用し「昭和女子大」下車(上町・等々力・田園調布・
弦巻営業所・二子玉川・高津営業所・成城学園・祖師谷大蔵)
目黒駅・祐天寺駅から三軒茶屋行きを利用し「三軒茶屋」下車
下北沢駅から 駒沢陸橋行きを利用し「三軒茶屋」下車



●内の数字は三軒茶屋までの所要時間(分)の目安です。

男女共学



昭和女子大学附属
昭和小学校



〒154-8533 東京都世田谷区太子堂 1-7-57 03-3411-5114 E-mail: shotobu@swu.ac.jp

※学校説明会は予約が必要です。
詳細はホームページをご覧ください。